

定年の必要は実際のところ、年老いたということではない。

おもな理由は若者たちに道をあけなければならないということにある。by Pドラッカー



今回のOpenTalksは、今年1月にOTSを定年退職をした「ひとりの男」の特集号といたします。なぜ、社外報で?・・・と思われる方も多いかと思います。彼の人生は、ファッション業界にどっぷりはまっており、OTSがファッション企業向けの物流にだけ専念している事と重なる所があり、この男の生き様を見る事で、「OTSのファッションに対する思いを少しでも感じてもらえるのでは!」と特集にしました。その男の名前は、「田中 稔」です。彼は、9年間現場からOTSを支え、お客様のニーズに応えようと、頑張ってきました。ファッションが好きで、物流と言う立場でファッションと関わってきました。OTSには、彼のようにファッション業界からの転職者や、ファッションが好きなスタッフがいらっしゃいます。今回は、そんな田中さんへの感謝とともに、OTSのファッションに対する思いを皆さんにお伝えしたいと思います。

年代	ファッション	OTS	田中 稔
1975年	お嬢様ファッションブランド 「ニュートラ」神戸発 「ハマトラ」横浜元町発		23歳 大学卒業後 VANジャケット入社 若かりし・・・(?) 百貨店で販売中
1979年	原宿歩行者天国 「竹の子族」		26歳 VAN倒産 ニューヨーカー入社
1986年	ハブル到来 「DCブランド」の誕生 Y's、コムデギャルソンなど	1986年 臨海センター OPEN	27歳 スtockマングループ入社
1991年	渋谷発「渋谷カジ」 紺ブレ、POLOシャツ  この頃からファッション企業を 「アパレル」と呼び始める 「ホテイコン」大流行 ジュリアナ東京 設立 ~1994年閉鎖	1991年 葛西センター OPEN	34歳 ベーリーストックマン 渋谷店 店長 海外買付ハイヤー兼務
1995年	【空白の10年】	1995年 堀江センター OPEN	39歳 スtockマングループ 物流担当
2005年	Forever 21	1997年 瑞江センター OPEN	
2009年	最新の流行を採り入れながらも、 低価格の料金帯で展開する... 「ファストファッション」の台頭	2011年 ターミナルセンター OPEN	51歳 OTS入社 瑞江センターの立上げに貢献
2012年	H&M UNIQLO		60歳 定年退職

1986年  
OTS 誕生!

悩める・・・男  
商品企画検討中

OTSとの遭遇  
物流管理責任者として  
海外商品の品質表示の取付などで  
OTSに業務委託を依頼!

ファッション業界の激動期に、OTSが生まれ、

OTSには、ファッションが好きな人が集まり・・・

OTSは、ファッション業界とともに生き、

今後もファッション業界をサポートし続けます!

本当にお疲れ様でした。最初の出会いは、97年~98年頃お客様の物流責任者としてお伺いした時でした。強面の外見からは想像つかないくらい、新米物流営業マンに丁寧な話をしてくださりました。あれから15年近く経ってお互いに年齢を重ねてきましたが、あのころの田中さんの雰囲気は変わらず、今でも周りの人たちを惹きつけて和ませる力があります。OTSでは楽しいことより大変な経験が多かったと思いますが、まだまだ人生も半ば過ぎですので新たな環境で楽しく力を発揮してください。もちろん、OTSにもいつでも遊びに来て、いろんな話を聞かせてください。9年間、本当にありがとうございました。  
社長 田中 優一郎

前職を退職後、故田中志郎常務(当時)からお声をかけてもらい、瑞江にある新センターで行われていた、ジュエリーの委託業務を見学、「一緒にやりましょう」とお誘い頂き入社致しました。最初の担当は、フォリフォリでした。ハティさんや社員によく助けて貰ったものです。同社は、契約解消までの経緯も経験しましたとても印象に深いお客様でした。その後、ササビー/現(株)A&Sを、瀧澤君と担当させてもらいました。ジュエリーの雑貨の入荷や配分を夜中までやった事は辛かったけど、今は良い思い出です。一番辛かった思い出は、それはハティさんの他センターへの異動と、一部のハティさんに辞めて頂いた事は会社の都合とはいえ辛かった。。。それでもオーティエスでの9年間は、辛い事もりましたが、楽しい事も、いっぱい経験し、私には大切な思い出です。

今月の広報委員のつぶやき - 阿部編 -

田中さんとは、あまり一緒になって仕事をする機会は少なかったですが、仕事終わってからアパレル業界などの裏話など色々面白い話聞かせて貰いました。飲み会の時の田中さんは抜群に面白いので退職してしまっても寂しいですが飲み会にはこれからも参加してください!

